

## 令和6年度宮城県刑務所出所者等就労・定着ネットワーク事業「リ・トライ！」

## 第2回プログラム実施報告書

1. 開催日時：2024年7月20日(土) 14:00～16:15
2. 開催場所：泉地区更生保護サポートセンター
3. プログラム：協力雇用主・職親企業との対話「職場の中で働くことの難しさとやりがいを知る」
4. 講師：一般社団法人イシノマキ・ファーム 池田新平様
5. 参加者状況と次回受講希望状況

表-1に、第2回プログラム参加者の状況を示す。2名が少し遅れての参加ではあったが、本題の対話には間に合った。したがって受講者は7名であり、また受講者7名は、次の第3回プログラムの受講を希望している。

欠席者のうち1名はアルバイト勤務が入ったため。他2名の欠席理由は不明であり、話す機会があったら事情を確認したい。

**対話：協力雇用主・職親企業との対話「職場の中で働くことの難しさとやりがいを知る」**

日時：令和6年7月20日(土)

次回8月3日(土)

	参加申込者	参加	交通費	食料	備考	受講希望
1	H.T.さん	×	×	×		?
2	H.A.さん	○	○	○	14:30到着	○
3	D.S.さん	○	○	○		○
4	T.K.さん	×	×	×	アルバイトのため欠席	?
5	M.S.さん	○	○	○		○
6	S.C.さん	○	○	○		○
7	H.O.さん	×	×	×		?
8	A.S.さん	○	○	○		○
9	K.H.さん	×	×	×		?
10	Y.N.さん	○	○	○		○
11	Y.H.さん	○	○	○	14:15到着	○
		7名	7名	7名		7名

表-1:参加者状況と次回受講希望状況

## 6. プログラムの主な講話の内容

## ① 講師自己紹介

高校卒業後から現在の職場に至るまでの経歴と経験をお話しいただいた。

## ② 職場紹介と職場の特徴について：

農福連携、中間的就労支援、農村留学プログラム、人材育成研修およびスタディツアーナーなどプロジェクトを展開中。その特徴について説明頂いた。

- ③ 少年院との関わり、及び協力雇用主として受け入れしてみて  
東北少年院、青葉女子学園と連携し農作業受入れを行ったことから、少年院から相談、受け入れに至った。受け入れた出院者は、ギャンブル依存の傾向があり、そのお金欲しさから窃盗で入院。
- ④ 職場の中で働く事の難しさとやりがいについて・・雇用主と当事者の視点から  
仕事の内容によって、個人差があり、向き・不向きがあること(就労支援を行う上で、無理なく働く環境を提供しているが、体力面や集中力に不安があり苦労していた様子)。また、職場内での情報共有の仕方に難しさがある。(誰がどこまで知っているのかなど、本人の理解度によっては不安材料となる。)  
一方、本人は、働く人の多くは年齢が離れていて会話がしづらかったことや、工業出身で職種が異なったため定着が難しかった。  
やりがいについては、農作物の収穫まで関わることで、しっかり仕事ができていたんだ、と感じることができた。加工し製品を作る、さらに販売まで行けたことは達成感があった。

## 7. 参加者の感想(受講後アンケートより)

- ① サッカーのお話し、色々聞いて学べてよかったです。
- ② 今まで経験の無い職業の話を聞けて良かった。
- ③ 様々な職種で支援が受けられる事が知れて良かった。
- ④ 個人的に農業に興味があったので、貴重なお話しをきかせて頂き有難うございました。
- ⑤ 是非機会がありましたら、体験させて頂ければと思います。
- ⑥ 講師の方の経験を聞いた時、様々な経験をした方が色々な仕事につながるのだと思いました。
- ⑦ 協力雇用主の存在を知ることができた。
- ⑧ イシノマキ・ファームの体験プログラムに興味あり。6次化に興味あり。(適正があるかどうかを体験したい)

## 8. 全体を通して

第1回同様、終始和やかな空間となったと感じる。講話に対する質問は、やや消極的だったが、受講者全員に対し均等に指名することで、みんなが質問や感想を述べていた。その内容も、講師の経歴に関することや会社の仕事のこと、協力雇用主になった理由など、様々な発言があり、きっと講師を含め同じ空間にいた参加者全員が、何かしらの“気付きを得た”と思う。

## 9. 個別相談対応

新規受講者1名の方から個別相談の希望があり、プログラム終了後、個別相談を実施し40分ほどお話を伺った。相談の最後に一つ聞いてみた。「プログラムに来てみて、どうだった?」、「来るまではおっくうでしたけど、来てみたら意外にたのしかったっす」と、その感想が印象的であった。

## 10. 第1回実施後の改善点に対する対応状況

- ① プログラム終了後のアンケート調査用紙を準備する。→ページ4のプログラム受講後アンケートを開発
- ② プログラム会場案内は、毎回1回分のみを受講者へ伝える。→実施を継続する。
- ③ プログラム前後での個別面談の持ち方を再考する。(前後の時間は、プログラム準備に時間がかかるため、別日程での調整を検討する)→できる限り事前面談で対応するように調整を継続する。
- ④ プログラム受講状況を評価する指標を開発し、回を追うごとの参加者の成長が数値化できるといい。検討する。→ページ4のアンケート設問を設定し、今回から受講後アンケートを開始した。収集したデータを継続的に観測し、その変化を追いかける。(データ分析例をページ5に示す。)

以上

報告者：本間巧

## 第2回プログラムのチラシ

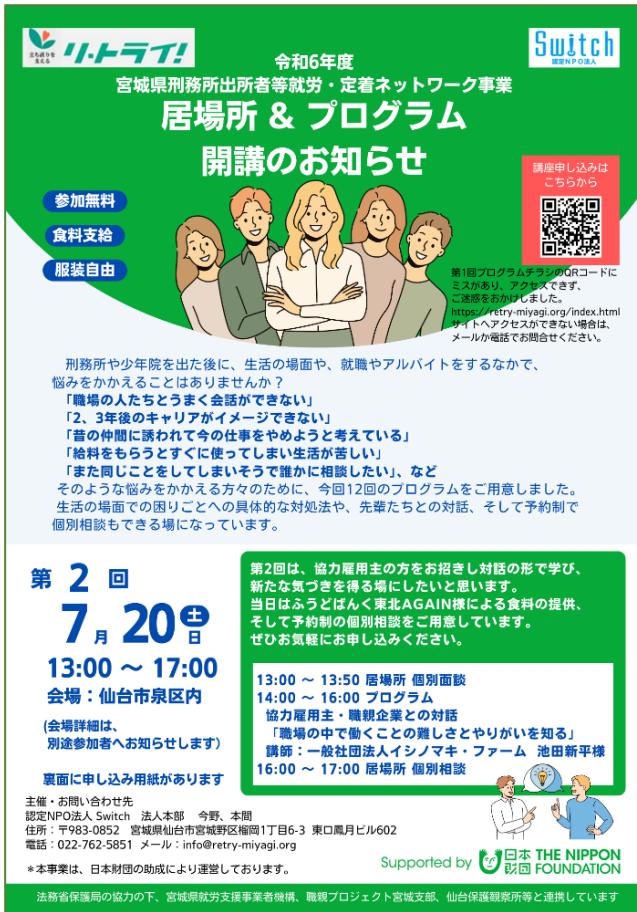


図-1:プログラムチラシ(表)

プログラム日程と内容		参加 定員
日 時	講座/プログラム内容	
1 令和6年6月22日(土)	SST①労働相談、少年院出席者座谈会「仕事や生活中で困る場面はありますか?」	<input type="checkbox"/> 10名
2 令和6年7月20日(土)	対話・協力雇用主・職親企業との対話「職場の中で働くことの難しさとやりがいを知る」	<input type="checkbox"/> 10名
3 令和6年8月13日(土)	金融管理ワークショップ Money Connection	<input type="checkbox"/> 10名
4 令和6年8月24日(土)	SST②金銭管理 SSTの工夫をしながら楽しく暮らすには	<input type="checkbox"/> 10名
5 令和6年9月21日(土)	対話・アルコール、薬物、ギャンブル、オンラインゲームなどで困ったことはありますか? ~先輩たちとの対話~	<input type="checkbox"/> 10名
6 令和6年10月19日(土)	SST③生活の中でSST通りなどの価値をコントロールする方法を学ぼう	<input type="checkbox"/> 10名
7 令和6年10月26日(土)	対話・職場の中でのコミュニケーションの練習を保つために ~感情疲労の回復の仕方~	<input type="checkbox"/> 10名
8 令和6年11月2日(土)	SST④生涯の様々な場面でのSSTコミュニケーション力を身につける	<input type="checkbox"/> 10名
9 令和6年11月16日(土)	対話・社会で活ける法律の知識	<input type="checkbox"/> 10名
10 令和6年12月7日(土)	SST⑤生きる力を身につけるために必要なこと	<input type="checkbox"/> 10名
11 令和7年2月8日(土)	日程及び内容調整中	<input type="checkbox"/> 10名
12 令和7年2月8日(土)	ワーク・ヨガ・ストレッチ対話をカードゲームで学ぶ	<input type="checkbox"/> 10名

日程・内容は、変更になる可能性がありますので、ご了承願います。  
全プログラムで、ふらどはんく東北AGAIN様ご協力による食べ物の提供があります。

**講師のご紹介**  
池田新平講師

協力雇用主でもある、一般社団法人イシノマキ・ファームに所属し、ソーシャルファーム部門にて部門長として勤務。  
これまでの経歴と支援の経験に加え、ショフコーチの資格を取得、知識とスキルを活かし、対象者の職場定着を目指した活動を展開しています。皆さんとの対話を通じ、新たな気づきのある学びの場としたいと思います。

**参 加 申 込 書 (FAX:022-762-5853)**

上記プログラム日程表の参加欄の□に、参加希望をし点を入れてください。  
次の通り参加したいので、申し込みます。

氏 名	(フリガナ)
生年月日	西暦 年 月 日 生 满 ( ) 歳
現住所 電話番号 メール 個別面談	〒 宮城県 電話番号(自宅・携帯) ( ) メールアドレス (PC・携帯) 個別面談を希望 □ サークル □ しない

別途、利用申込書、個人情報取り扱い同意書等の、必要書類の提出をお願いし、受講開始となります。

図-2:プログラムチラシ(裏)

宮城県刑務所出所者等就労・定着ネットワーク事業「リ・トライ！」  
プログラム受講後アンケート

令和 年 月 日

氏名( )

1. 受講してみて、現在の状況について教えてください。

1(そう思う) 2(ややそう思う) 3(どちらともいえない) 4(あまり思わない) 5(全く思わない)

今の気持ちにあてはまる数字に○をつけてください

	受講後
生活のリズムが整っている	1 2 3 4 5
働くための体力、健康が備わっている	1 2 3 4 5
自身のキャリアの目標がある	1 2 3 4 5
金銭の管理が出来ている	1 2 3 4 5
職場での円滑なコミュニケーションが出来ている	1 2 3 4 5
友人知人と良好な関係がある	1 2 3 4 5
自分は社会に貢献していると感じる	1 2 3 4 5
仕事に取り組む自信や意欲がある	1 2 3 4 5
世の中の職業に関して理解している	1 2 3 4 5
仕事をする技能や経験がある	1 2 3 4 5

2. 受講したプログラムについてお聞きします。

1(そう思う) 2(ややそう思う) 3(どちらともいえない) 4(あまり思わない) 5(全く思わない)

今の気持ちにあてはまる数字に○をつけてください

ソーシャルスキルズトレーニング(SST)は役に立ったか	1 2 3 4 5
対話型プログラムで学びはあったか	1 2 3 4 5
ワークショップ型プログラムで学びはあったか	1 2 3 4 5
仲間とのつながりは感じられたか	1 2 3 4 5
スタッフとのつながりは感じられたか	1 2 3 4 5
プログラムは満足できる内容だったか	1 2 3 4 5
受講したプログラムは、他の人にも勧めたいか	1 2 3 4 5
機会があったら、また受講したいか	1 2 3 4 5
次年度も同様のプログラムあつたら、受講したいか	1 2 3 4 5

3. 自身が成長したと感じられる点や、今後の仕事や生活に役立つと思うことを教えてください。

4. プログラムの改善点や、その他感じたことを自由にお書きください。

## プログラム受講前後の評価指標の変化:データ分析例

前述アンケート1項の「生活のリズムが整っている」を例にデータを示す。各項目について、受講後アンケートでデータを収集し、その変化を追いかけていく。

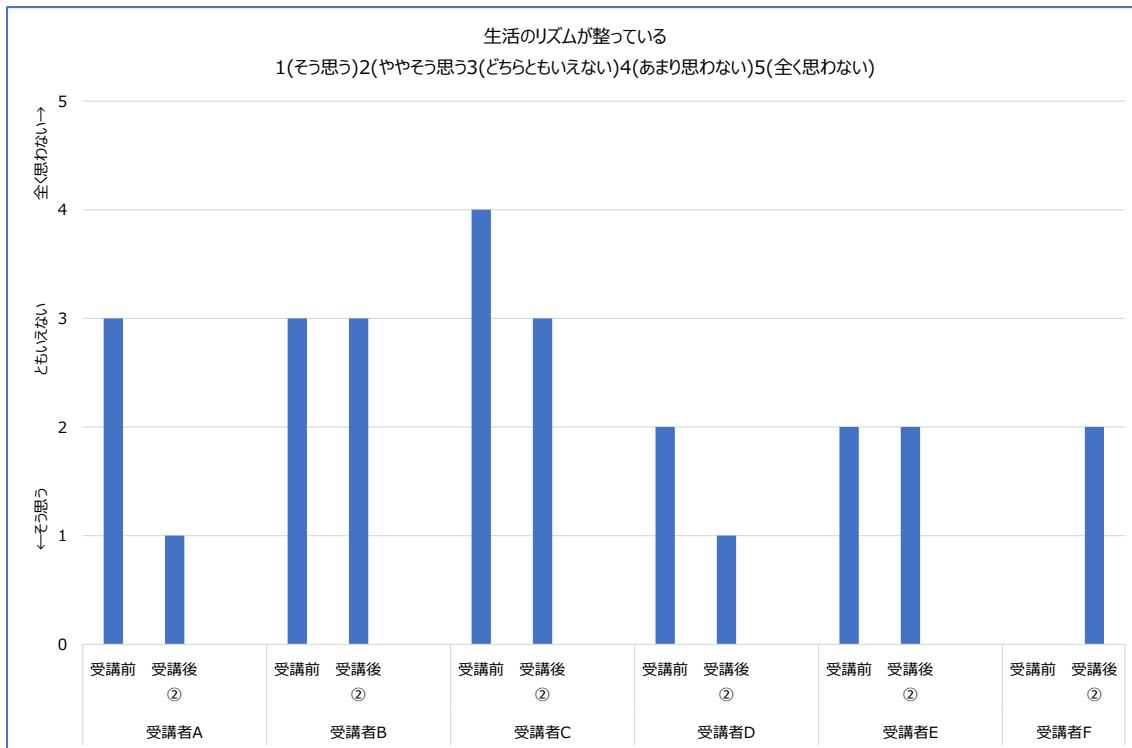


図-3:アンケート1項「生活のリズムが整っている」受講前後の変化

ある受講者のアンケート2項「受講したプログラムについて」例を示す。こちらも各回終了後のアンケートにてデータを収集し、その変化を見ていく。

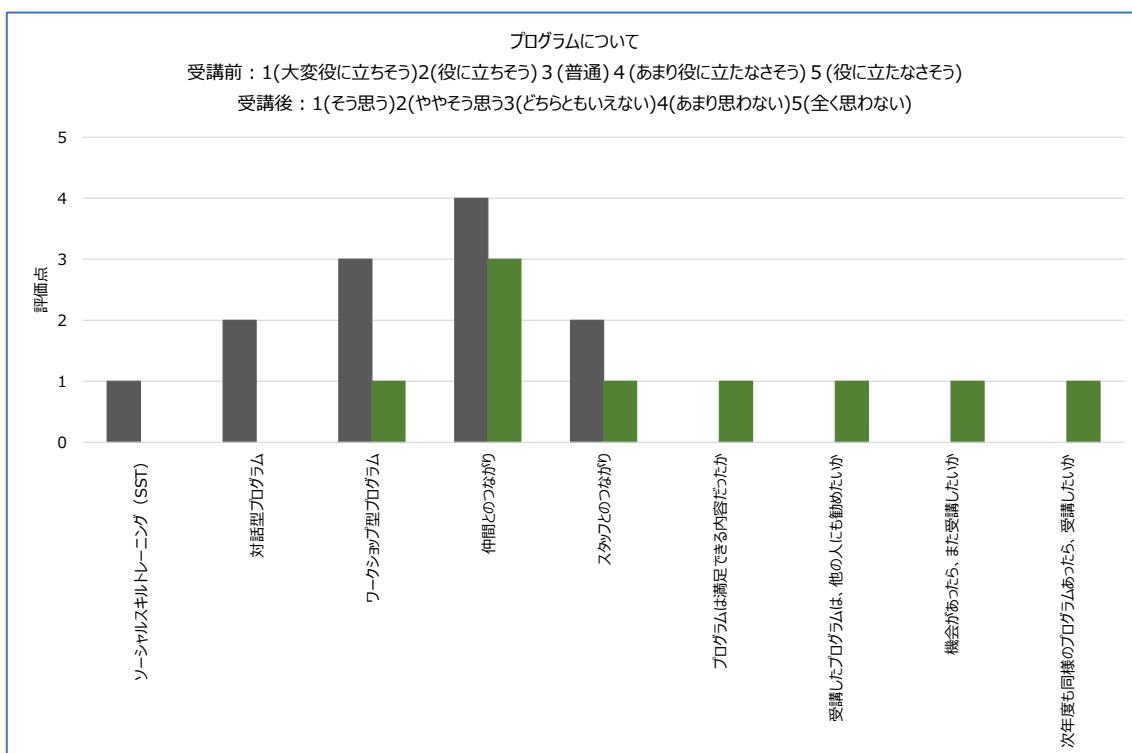


図-4:アンケート2項「受講したプログラムについて」受講前後の変化